



2024年6月28日

報道機関各位

日本地震工学会が「おおさきよりひこ大崎順彦（おおさきよりひこ）賞」を新設  
～地震工学に関わる挑戦的な研究・開発で成果を上げた若手研究者を表彰～

公益社団法人日本地震工学会（会長：高田毅士・東京大学名誉教授）は、地震工学の分野の活性化を目的として、若手の研究者・開発者を対象とする「大崎順彦賞」を新たに設けました。本賞は、株式会社大崎総合研究所（社長：佐藤俊明）の創設者である故・大崎順彦博士（東京大学名誉教授）の研究に対する姿勢を受け継ぎ、将来の地震工学の発展に貢献することを期して、同社からの寄付により創設されたものです。（大崎博士の略歴、業績等については別紙をご覧ください）

【賞の創設の経緯】

故・大崎順彦博士は、地震・地盤・構造物の三つの分野を一体とした耐震理論の体系化とその確立を生涯の研究の目標としていました。既成の狭い専門分野に閉じこもることなく、異なる分野の研究、複数分野にまたがる研究に積極果敢に挑戦して社会に役立つ独創的な研究成果を上げるとともに、多くの若い研究者を鼓舞・育成して学術界の持続的発展に大いに貢献してきました。

1982年に大崎博士によって設立された株式会社大崎総合研究所は、こうした大崎博士の遺志を受け継ぎ、日本地震工学会の持続的発展に少しでも貢献したいとの趣旨で、創業40周年の記念事業の一環の社会貢献活動として、日本地震工学会に大崎順彦賞の創設を申し入れました。

日本地震工学会では、約1年間の検討を重ねてきた結果、地震工学の研究・開発の活性化と若手の研究者・開発者の励みの一助となることに鑑み、本学会としては初めて個人名を冠した賞を創設するに至りました。

名称	日本地震工学会「大崎順彦賞」
対象	地震工学に主軸を置き、個々の狭い分野に捉われずに地震工学に新しい視点や考え方を取り入れたり、周辺領域の研究成果を採り込んで課題解決を行うなど、挑戦的で地震工学の裾野を広げるような研究・開発を継続的に実施し、優れた成果を上げた個人
応募資格	大学や大学院、研究機関、民間企業等に勤務する研究者・開発者（大学院生を含む）や実務者 ・受賞年の4月1日で45歳以下であること ・応募及び表彰時点で日本地震工学会の会員（学生会員を含む）であること ・日本国籍を有する者（海外在住を含む）または、日本国籍を有しなくても、我が国の大学や大学院、研究機関、民間企業等に所属して5年以上の研究・開発の経験があり、今後も我が国で研究・開発の活動の継続を予定している者であること
選考	大崎順彦賞選考委員会（日本地震工学会会長、副会長、総務理事、会員理事等で構成）で実施
受賞者数	原則として最大2名（年間）
表彰	日本地震工学会社員総会（毎年5月に開催）において行う（併せて記念講演を実施予定）。 受賞者には副賞として1名につき賞金100万円、記念品を授与する。

選考日程 募集：2024年8月～11月  
(第1回) 選考：2024年12月～2025年3月末  
受賞者発表：2025年4月初旬

※応募方法など詳細は、募集開始以降に日本地震工学会ホームページをご覧ください。

<https://www.jaee.gr.jp/>

**【問い合わせ先】**

日本地震工学会事務局

- ・住所：〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20
- ・電話：03-5730-2831      ・FAX：03-5730-2830
- ・メール：office@general.jaee.gr.jp
- ・担当者名：戸田、吹野、徳澤

(別紙)

### 【大崎順彦博士（1921～1999）略歴】

東京大学名誉教授。日本の耐震工学者。建設省建築研究所第三研究部長・国際地震工学部長、東京大学工学部建築学科教授を歴任し、地盤工学、地震工学、耐震工学の分野において顕著な研究業績を残す。1982年に東京大学を定年退官し清水建設（株）副社長に就任、同時に（株）大崎総合研究所を設立。

### 【大崎順彦博士の主な業績】

大崎順彦博士は、地震・地盤・構造物の三つの分野を総合し、三者を一体とした耐震理論の体系化と確立を研究人生の目標としていた。また、その中で個々の狭い単独分野に閉じこもることなく、分野間のつながりを強く意識し、複数の分野にまたがる研究（例えば、地盤と構造物を組み合わせた不同沈下の問題、構造物と地震の組み合わせである地震災害の分析や設計用入力地震動の策定、地震と地盤の分野を組み合わせた地盤震動理論など）に挑戦し、独創的な多数の論文や著書を執筆。多くの若い研究者を鼓舞し育成した。その際には、データ・数理を大切にしつつ、当時の最先端の IT 技術（コンピュータと数値解析技術）の活用を常に強く意識していた。

著書の中でも、特に「新・地震動のスペクトル解析入門」は、初版より 30 年以上経ているが、学生や若手研究者を中心に現在でも広く読まれている。

### 【株式会社 大崎総合研究所】

社会を支える特殊構造物の建設エンジニアリングに関わる地震動評価・構造解析・流体解析等の特殊解析技術の研究開発およびそれらの研究開発成果を活用したコンサルティング業務を手掛ける民間のシンクタンク。1982 年設立。

大崎総合研究所ホームページ

<http://www.ohsaki.co.jp/index.html>



以上